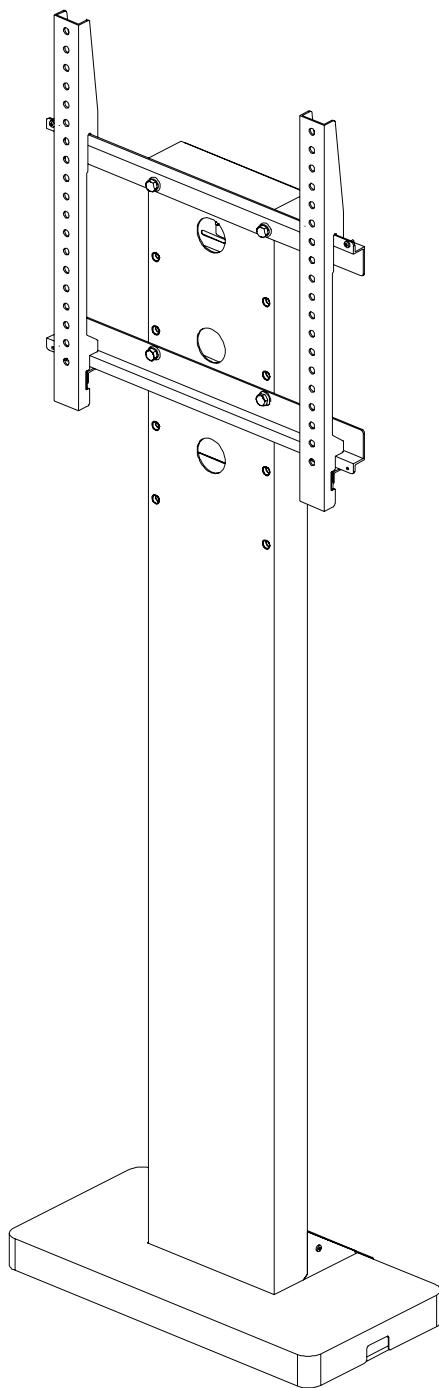


取扱説明書

窓寄せスタンド
アンカータイプ

型番

FFP-KBS-K-35



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。



目次

■ 安全上のご注意	1-2
■ 製品概要	3
■ 梱包内容	4
■ 「底板」を「支柱」に取り付ける	5
■ 「ブラケット受け」を「支柱」に取り付ける	6
■ 「底板」を設置場所に据え付ける	6-7
■ 「ブラケット」をディスプレイに取り付ける	8
■ ディスプレイを「ブラケット受け」に取り付ける	8-9
■ 「ベースカバー」と「背面ベースカバー」を「支柱」に取り付ける	10
■ 保証書	11






安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 警告 この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
--	---

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
 この絵表示は、指に気をつけていただきたい「注意」内容です。	

⚠ 警告



本製品の耐荷重を超えるディスプレイは取り付けしないでください。耐荷重を超えた質量のディスプレイを取り付けると、ディスプレイの落下・破損など事故の原因となります。



壊れた部品を使用しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。



ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



使用中にジョイント部やネジのゆるみ、がたつきが生じた場合は、必ず締め直し、直らない場合は使用を中止してください。ゆるみやがたつきがあるまま使用すると本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



ディスプレイの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



本製品の改造・変更は行わないでください。金具やディスプレイ落下などによる破損・けがの原因となります。



本製品を設置する際は、ディスプレイと窓ガラスの距離を100mm以上空けるようにしてください。ディスプレイと窓ガラスの接触などによる破損・けがの原因となります。

⚠ 注意



本製品の設置には特別な技術が必要ですので、販売店や工事店にご相談ください。お客様による工事は一切行わないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



取り付ける床面には十分な強度があることを確認してください。取り付けるディスプレイ、本製品の質量に長時間耐えうることを確認してください。



本製品を設置する際は、揺れや振動の多い場所では設置しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる窓ガラスの破損・けがの原因となります。



安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。

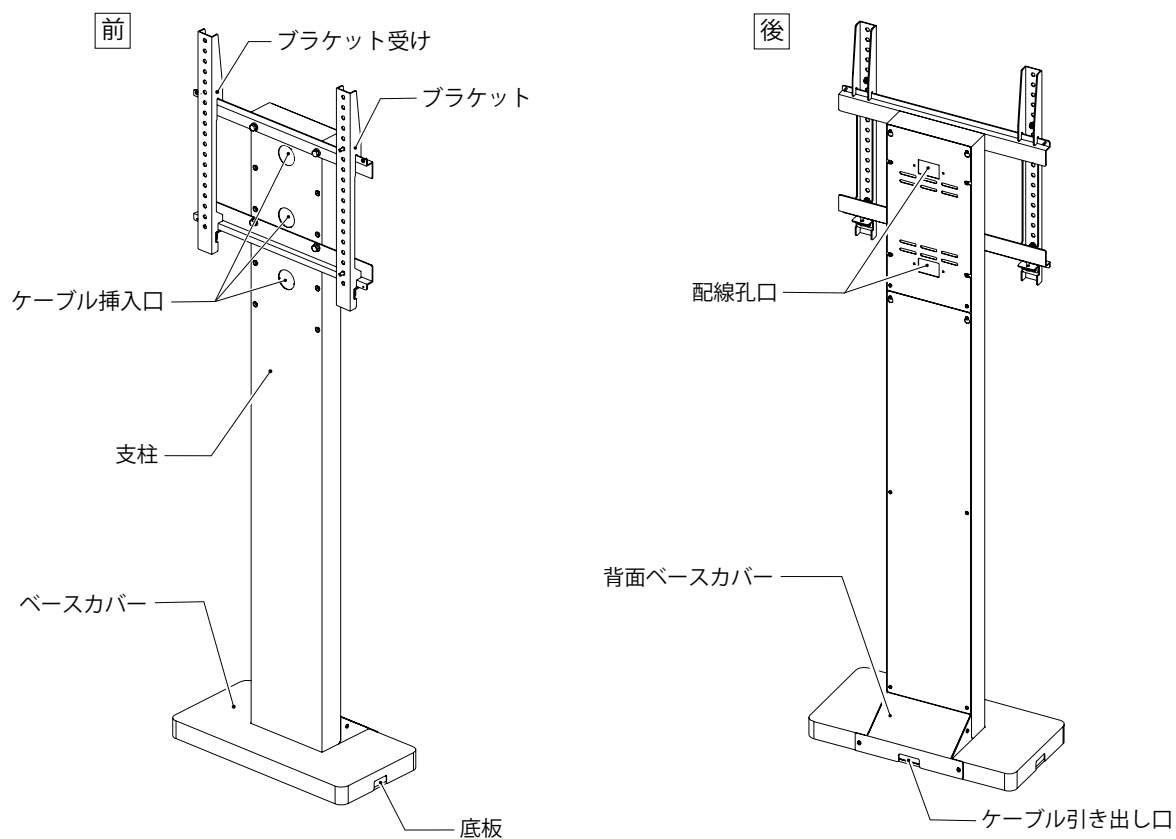
本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、まことに恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社

電話：03-3636-0011(代表) ホームページ：<https://www.forvice.co.jp> メール：marketing@forvice.co.jp

製品概要

窓寄せスタンド アンカータイプ



型 番	FFP-KBS-K-35
質 量	約21.0kg
耐荷重	35kg

※ 型番や仕様その他の記載内容は、予告なく変更する場合があります。

梱包内容

部品・付属品

 <p>支柱…1本</p>	 <p>ブラケット受け(落下防止ネジ付) …2本</p>	 <p>ブラケット…2本</p>	 <p>背面ベースカバー…1個</p>
	 <p>底板…1個</p>	 <p>ベースカバー…1個</p>	
 <p>六角穴付き皿ボルト (M8×20)…4本</p>	 <p>六角トリーマP=3(M8×20) …4本</p>	 <p>バインド小ネジ (M4×10) …4本</p>	 <p>ナベセムス P=3 (M6×18)…4本</p>
 <p>ナベセムスP=3 (M8×18) …4本</p>	 <p>ナベセムスP=3 (M8×20) …4本</p>	 <p>M6 取り付け用スペーサー …4個</p>	 <p>取扱説明書 … 1部</p>

※工具は付属しておりませんので、お客様や設置する方でのご用意となります。

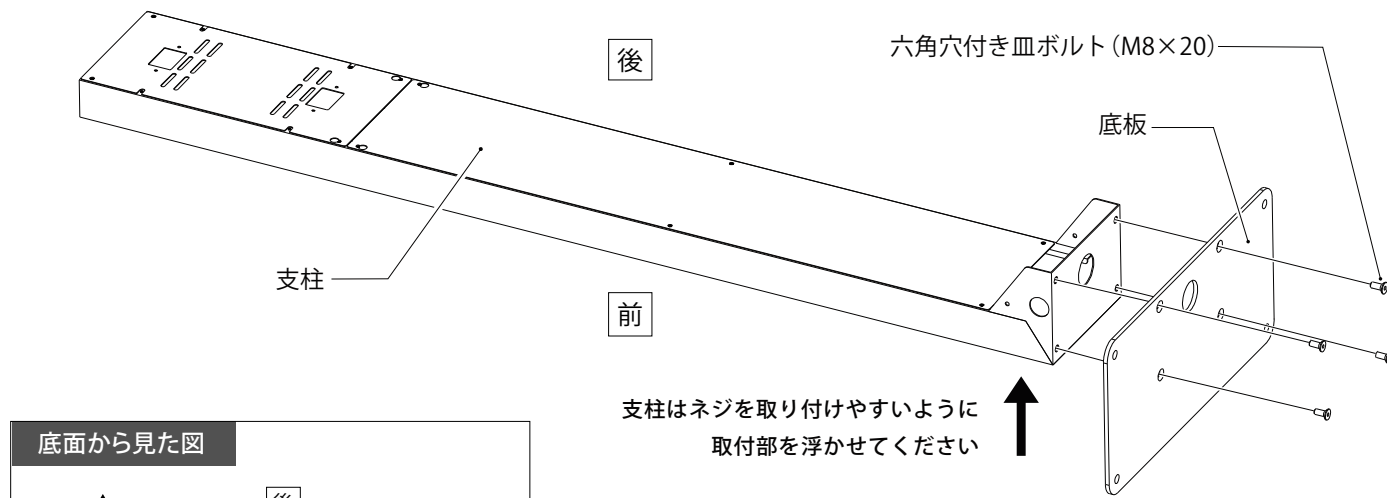
「底板」を「支柱」に取り付ける

「支柱」の後ろ側を上面向かせた状態にします。

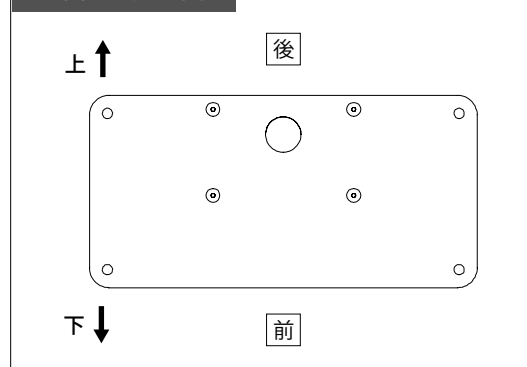
「底板」の向きを間違えないように「支柱」の底面と穴の位置を合わせて、「底板」に「六角穴付き皿ボルト (M8×20)」4本を取り付けてください。

使用する工具

六角レンチ (対辺 5mm)



底面から見た図



底板の前後向きに注意



ネジを確実に締め付けてください。支柱の転倒やディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。

「ブラケット受け」を「支柱」に取り付ける

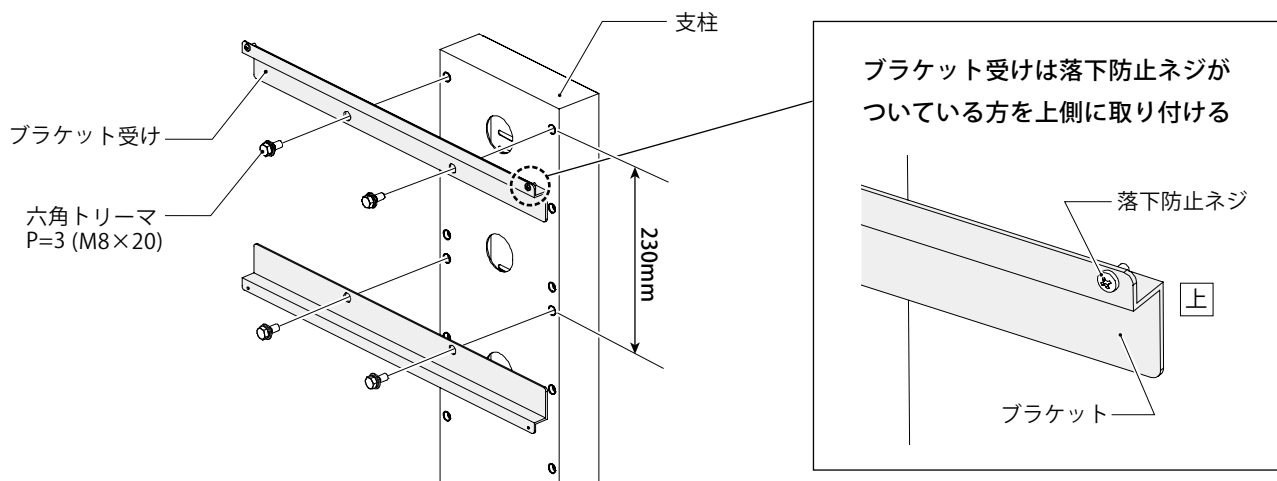
「ブラケット受け」を「六角トリーマP=3(M8×20)」4本で「支柱」に取り付けてください。

※支柱の取り付け高さは、100mmピッチで3段階の高さ調節が可能です。

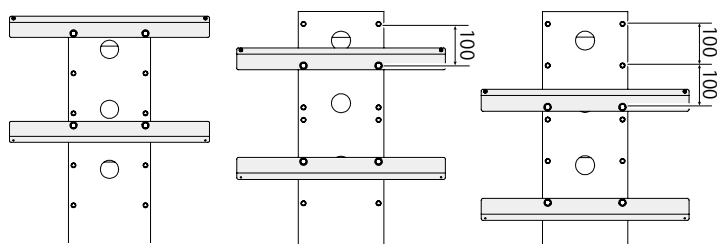
※取り付け穴の距離は230mmのため、取り付け位置を間違えないようにしてください。

使用する工具

スパナ (対辺 13mm)



3段階の高さ調節



ブラケットの上下向きに注意

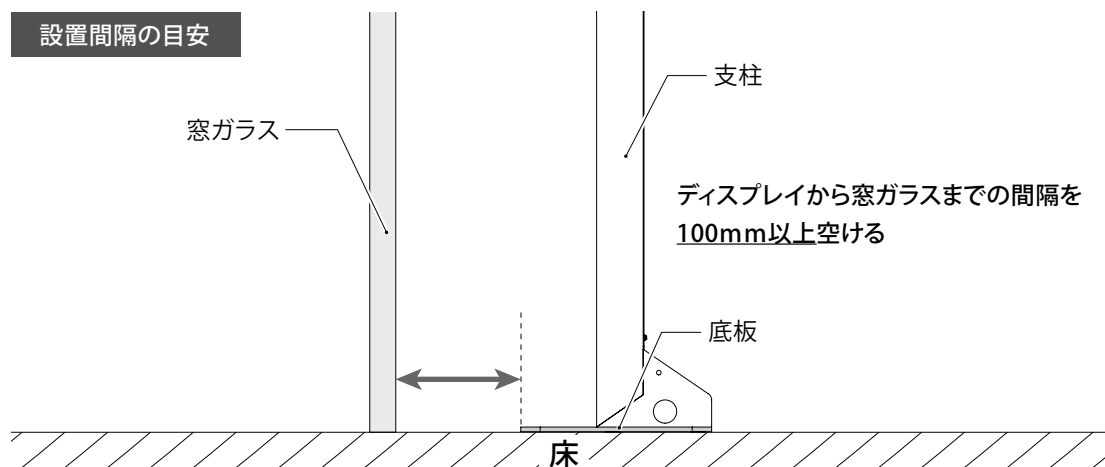


ネジを確実に締め付けてください。支柱の転倒やディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。

「底板」を設置場所に据え付ける

1. 「底板」を据え付ける前に、設置場所を確認します。下図を参考に設置場所を決めてください。

設置間隔の目安



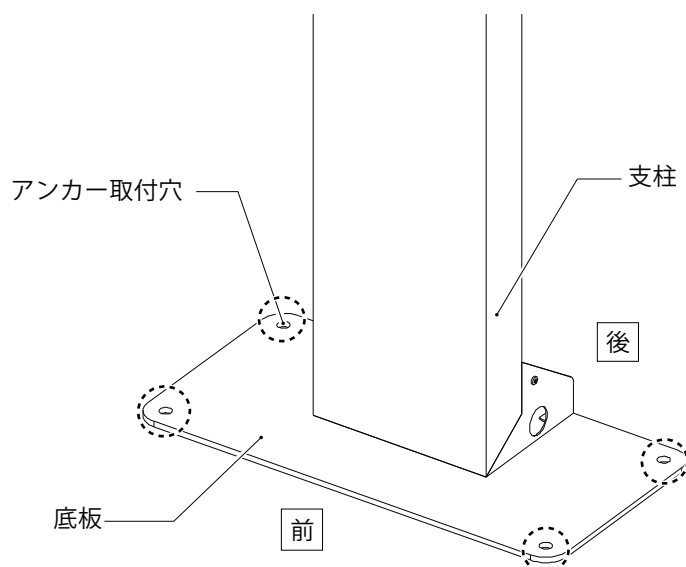
設置する際は、ディスプレイと窓ガラスの距離を100mm以上空けて設置してください。ディスプレイと窓ガラスの接触などによる破損・けがの原因となります。

「支柱」を設置場所に据え付ける

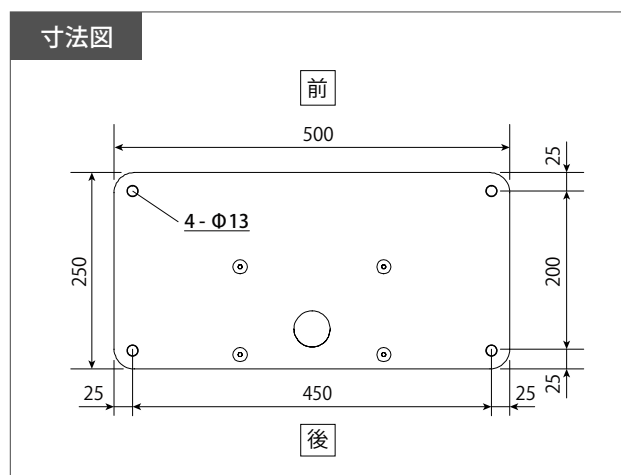
2. 「支柱」を立ち上げて、「底板」を「アンカーボルト」で1.で決めた設置場所に固定してください。

※「アンカーボルト」は、現場の状況に応じて、適切なものを別途ご用意ください。

※ 工具につきましても、使用する「アンカーボルト」に応じたものをご使用ください。



アンカーボルトの打ち込み位置は、計4箇所
穴径は、 $\Phi 13$



確実にアンカーボルトを取り付けてください。スタンドの
転倒による破損・けがの原因となります。

「ブラケット」をディスプレイに取り付ける

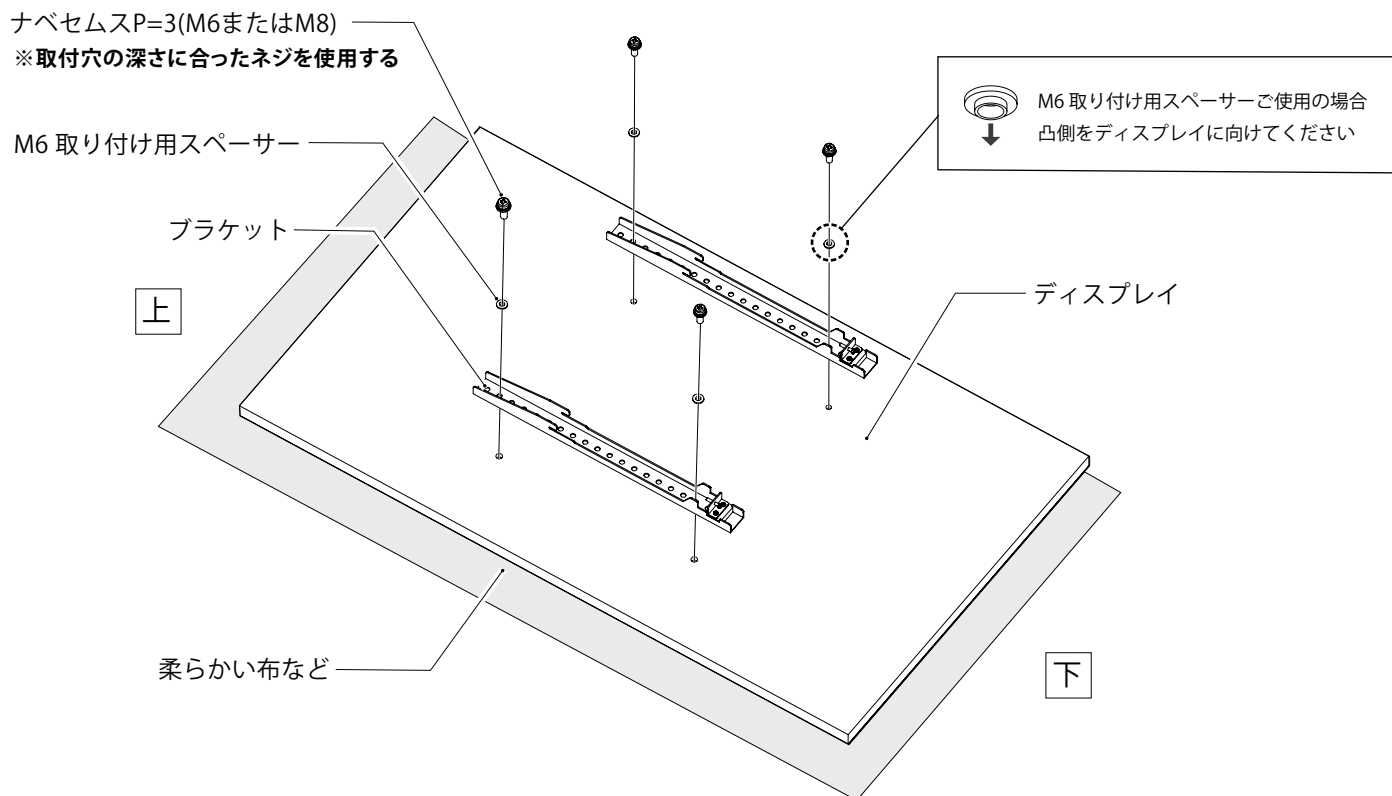
1. ディスプレイは画面を下にした状態で柔らかい布などを敷いた平面に寝かせます。
2. 付属の「ナベセムSP=3」で「ブラケット」をディスプレイに取り付けてください。

使用する工具

プラスドライバー

ネジは付属の「ナベセムSP=3 (M6×18 / M8×18 / M8×20)」の中からディスプレイの取付穴の深さに合ったネジを選定してください。

※ M6のネジを使用する場合のみ付属の「M6取り付け用スペーサー」をご使用ください。



ディスプレイはタテ・ヨコどちらの方向にも取付可能です。



ネジを確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下による破損・けがの原因となります。



取付の際は、取付穴の深さをご使用のディスプレイの取扱説明書・メーカーのホームページなどで確認の上、深さにあったネジの選定をしてください。



ディスプレイを寝かせる際は、凹凸のない平らな面に柔らかい布などを敷いて、取付を行ってください。画面に異常をきたす原因となります。

ディスプレイを「ブラケット受け」に取り付ける

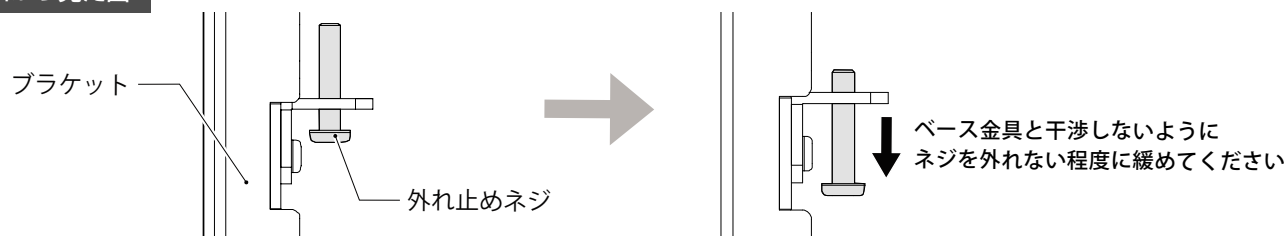
ディスプレイを「支柱」に設置した「ブラケット受け」に側面からスライドして取り付けます。

1. 「ブラケット」下部についている「外れ止めネジ」を緩めます。

使用する工具

プラスドライバー

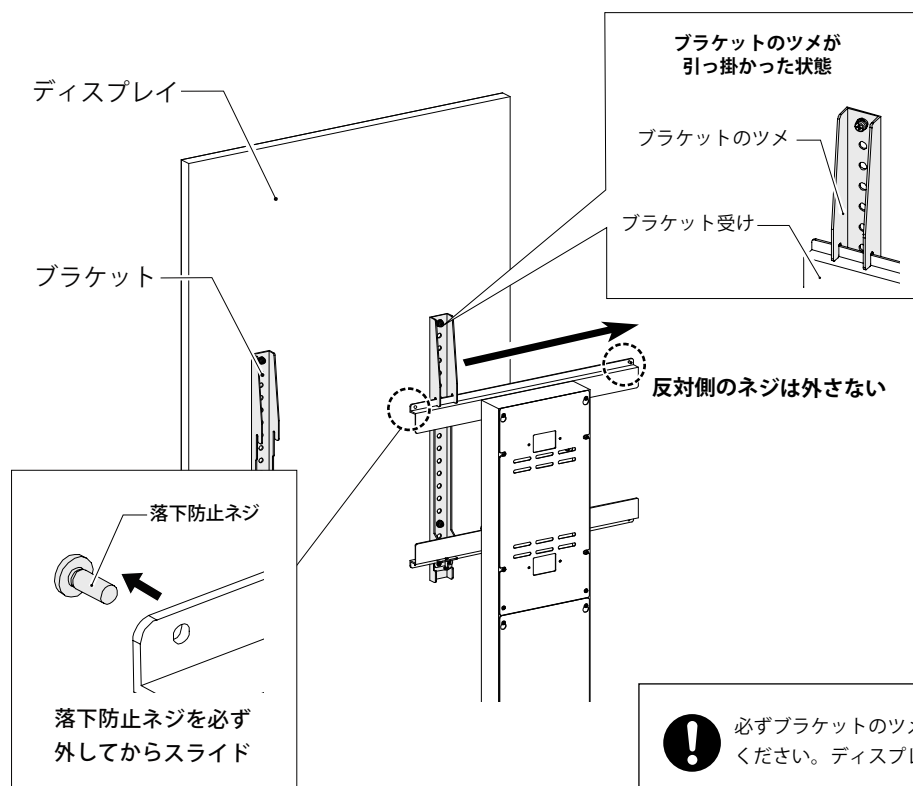
側面から見た図



ディスプレイを「ブラケット受け」に取り付ける

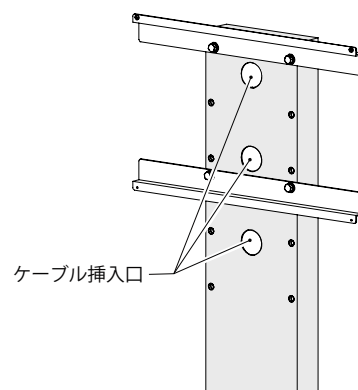
つづき

2. 緩みを確認してから「ブラケット受け」の取り付け側上部の「落下防止ネジ」を外します。
※取付部の反対側に付いている「落下防止ネジ」は緩めないでください。
3. ネジを外した側面側からディスプレイを「ブラケット受け」に引っ掛け、スライドさせます。



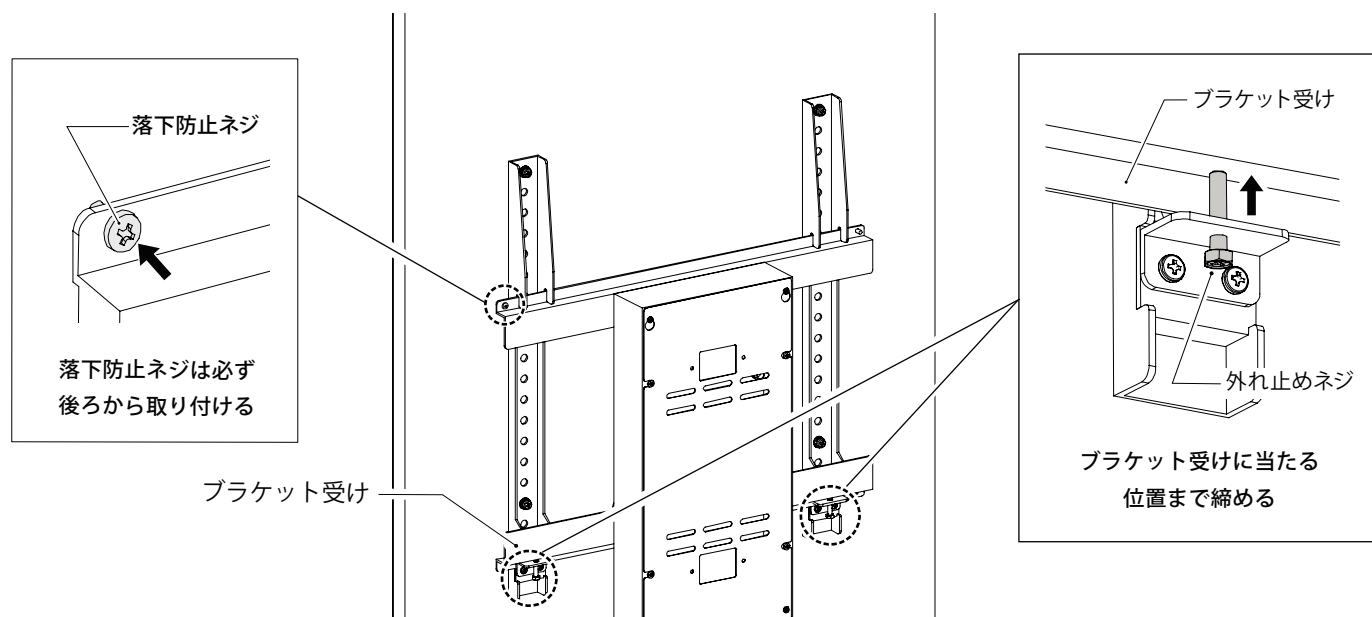
ディスプレイケーブルの配線の仕方

ディスプレイからのケーブルは「支柱」にある「ケーブル挿入口」に通してください。



必ずブラケットのツメがブラケット受けに引っ掛かっていることを確認してください。ディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

4. 取り付け後、「ブラケット」下部の「外れ止めネジ」を「ブラケット受け」に当たる位置まで確実に締めてください。
5. ディスプレイが落下しないよう、2. で取り外した「ブラケット受け」上部の「落下防止ネジ」を後ろから取り付けてください。



ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



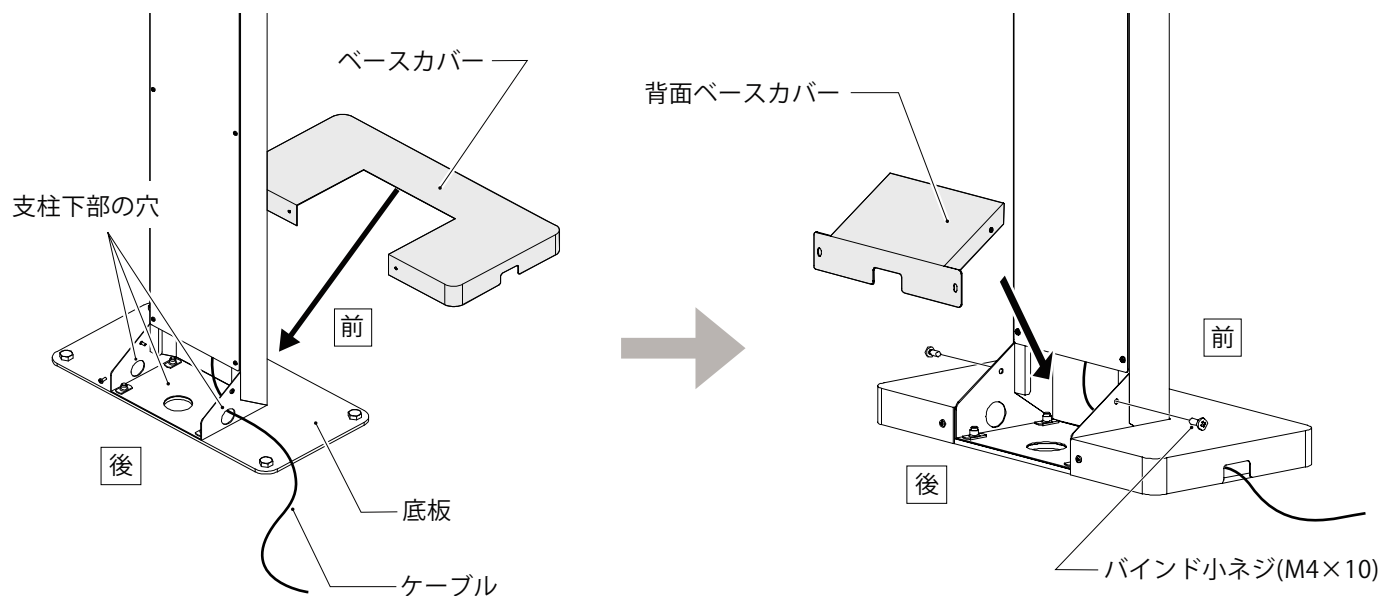
設置後、落下防止ネジは必ず取り付けてください。ディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

「ベースカバー」と「背面ベースカバー」を「支柱」に取り付ける

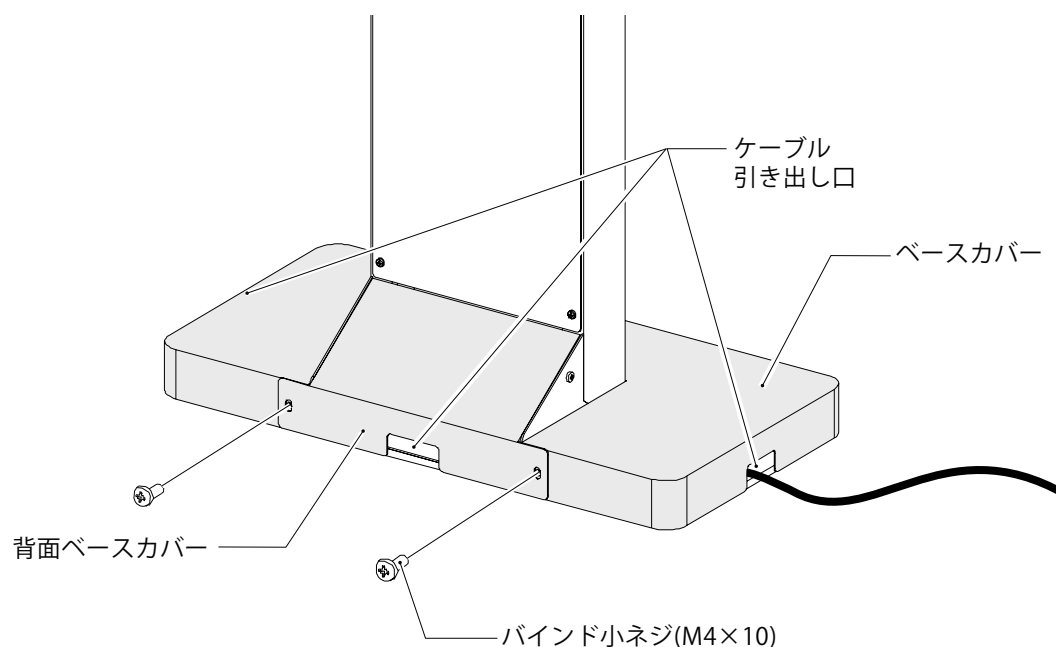
1. ディスプレイのケーブルを「支柱」下部の穴に通して外に出し、「底板」に「ベースカバー」を被せます。
2. 「ベースカバー」に「背面ベースカバー」を被せ、左右側面を付属の「バインド小ネジ(M4×10)」2本で取り付けます。

使用する工具

プラスドライバー



3. 最後に「背面ベースカバー」の背面部を付属の「バインド小ネジ(M4×10)」2本で取り付けてください。



ディスプレイからのケーブルはコンセント位置に応じて背面、もしくは左右どちらかのケーブル引き出し口へ配線してください。



ネジを確実に締め付けてください。部品や金具の落下によるけがの原因となります。